

陸前高田プロジェクト

〈概要〉

- ・東日本大震災被災地の当時と復興について学び、地域の方と海外大学生と共に考える
- ・スタンフォード大学等アメリカの大学/香港大学/シンガポール国立大学の学生と英語で学ぶ協働プログラム
- ・陸前高田市における4泊5日の現地研修を実施

〈目的〉

- ・陸前高田市の被災時の状況やこれまでの取り組み・現状を知る
- ・市や市民の方々の抱える課題を共有する
- ・海外大学生も交えたディスカッションや協働作業を通し、多様な視点で課題について深く思考し共有する

【募集サイト】 申込方法等の募集情報詳細は下記サイトに掲載

<https://spirit.rikkyo.ac.jp/ghrd/rikutaka/SitePages/index.aspx>

〈選考／実施プログラムに関するスケジュール〉

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 5月中下旬 | 当年度募集情報公開 |
| 6月12日(水)17:00 | 応募締切 |
| 6月中下旬 | 選考(書類選考・面接選考) |
| 6月下旬 | 参加者決定 |
| 7月13日(土) | 事前研修(立教生のみ) |
| 8月24日(土) | 事前研修(池袋キャンパス) ※海外大学生合流 |
| 8月25日(日)～8月29日(木) | 現地研修(陸前高田市) |
| 8月30日(金) | 事後研修(池袋キャンパス) |

〈履修資格〉

- ・春学期および秋学期ともに在学していること(休学する者は参加不可)

〈履修登録に関する事項〉

- ・派遣が決定した学生には、秋学期他科目として9月に大学が「その他」登録を行う。改めて登録手続きをする必要はないが、履修登録後に更新される履修登録状況画面を各自必ず確認すること。
- ・履修対象：1～4年生
- ・本科目の履修登録単位数は、全学共通科目総合系科目の秋学期の履修登録上限単位数に算入される。
- ・本科目は博士課程前期課程の学生も申請することができるが、参加者の選出に当たっては学部生の参加を優先する。修得単位は修了要件単位には算入されない。

〈留意事項〉

- ・プログラムにおける使用言語：英語。英語資格試験のスコアの基準は設けていないが、参加者には、すべて

英語で実施される授業において必要なコミュニケーションを英語で行う意志と言語力が求められる。

- ・事前研修, 現地研修, 事後研修すべて参加必須。
- ・科目の目的を十分に理解した上で応募すること。

〈備考〉

- ・参加費:6万円程度 (含: 交通費・宿泊費・一部食費等)

※「陸前高田サテライト利用に係る交通費・宿泊費援助金」申請対象プログラム

(2023年度実績:35,000円支給, 参加者負担額:20,000円程度 ※年度毎に異なる)

- ・本科目に関する詳細はグローバル教育センターホームページおよび募集要項を必ず確認すること。
- ・グローバル教育センターHP: <https://ghrd.rikkyo.ac.jp/>

以上

